

# La Confiance

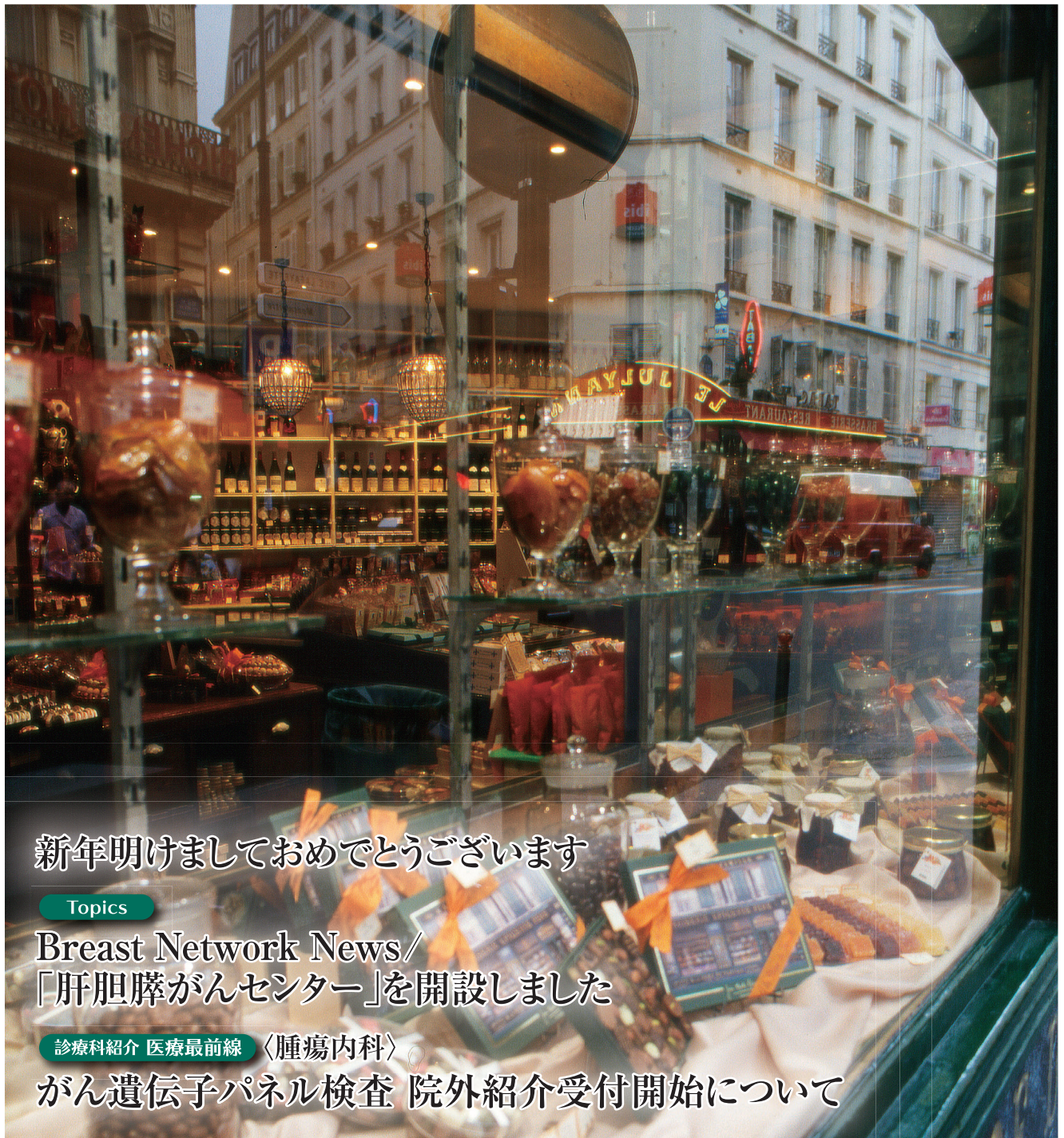
ラ・コンフィアンス

大阪赤十字病院 患者総合支援センターだより

Confiance (コンフィアンス)とは、フランス語で「信頼、信用」を意味します。

vol.42

2024年 **冬号**



新年明けましておめでとうございます

Topics

Breast Network News/  
「肝胆膵がんセンター」を開設しました

診療科紹介 医療最前線 〈腫瘍内科〉

がん遺伝子パネル検査 院外紹介受付開始について



# 新年明けましておめでとうございます

院長補佐／患者総合支援センター長 尾崎 彰彦

新年明けましておめでとうございます。

先生方には当院の地域医療連携にご理解とご協力いただき誠にありがとうございます。また、多くの患者さんをご紹介いただきありがとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行し、面会制限もようやく緩和できました。引き続き感染対策をしっかり行いながら地域の先生方からの要請に応えてまいります。

当院では2022年に稼働したハイブリッド手術室で、昨年、TAVI治療を開始いたしました。また、脳腫瘍センターに続き、今年、『肝胆膵がんセンター』を新たに開設いたしました。手術支援ロボット ダヴィンチは2台体制になり、より一層の高機能化に取り組んでいます。さらに今年、SCU増床とHCU新設を予定しており、救命救急センターでの円滑な受け入れにつなげたいと思います。

今後もあらゆる分野において、地域の急性期病院としての役割を全うし、先生方とともに地域医療に貢献してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## Topics-1

# Breast Network News

乳腺外科主任部長 露木 茂

乳がん術後連携パスにご協力いただき誠にありがとうございます。  
日々の診療にお役に立てるように、定期的に乳腺疾患についての情報発信を行ってまいります。

## 周術期治療が多様化したため、乳がん術後連携パス導入開始が遅くなります

ここ2年間でHER2陰性乳がんの周術期治療が多様化し、ベジニオ(CDK4/6阻害剤)やTS-1、リムパーザの術後補助療法への追加や、キイトルーダ(免疫チェックポイント阻害剤)の周術期治療への併用によって、術後の再発率が減少し、invasive disease-free survival (IDFS) が延長されます。

### 1 ホルモン陽性HER2陰性乳がんの術後補助療法

#### 1. 再発高リスク乳がん：ベジニオの追加

①LN転移≥4個または、②LN転移1～3個かつGrade3 or 腫瘍径≥5cm

従来の周術期治療 + ベジニオ(CDK4/6阻害剤) x 2年

手術 + 周術期化学療法 + 内分泌療法 x 5-10年

- ◆ Monarch E試験において、ベジニオとの併用で内分泌療法単独に比べて、IDFSが有意に改善。(Hazard Ratio:HR = 0.664)
- ◆ ベジニオの有害事象として、白血球減少、貧血、下痢、倦怠感などがあり、下痢などのマネジメントが必要。

#### 2. 再発中間リスク乳がん：TS-1の追加

従来の周術期治療 + TS-1 x 1年

手術 + 周術期化学療法 + 内分泌療法 x 5-10年

- ◆ POTENT試験において、TS-1との併用が内分泌療法単独に比べて、IDFSが有意に改善。(HR = 0.63)
- ◆ TS-1の有害事象として、白血球減少、下痢、色素沈着がある。

### 2 Stage2A～3Bのトリプルネガティブ乳がんの周術期治療

術前化学療法

カルボプラチン  
パクリタキセル

AC

手術

キイトルーダ 27週

キイトルーダ

- ◆ KEYNOTE522試験において、術前化学療法へのキイトルーダの併用のpCR率が、併用なしの51.2%に比べて、64.8%と高く、DFSも改善された。

- ◆ 従来のアンスラサイクリン+タキサンレジメンのpCR率:約35%に比べて、非常に高く、有効な治療レジメンである。
- ◆ しかし、キイトルーダによるGrade 3以上のirAEが約13%発生するので、irAE対策が必要。

### 3 BRCA1/2遺伝子病的バリエーションありのHER2陰性乳がんの術後補助療法

従来の周術期治療

手術 + 周術期化学療法 + リムパーザ x 1年 (PARP阻害剤)

- ◆ OlympiA試験では、BRCA陽性の再発高リスク乳がんにおいて、リムパーザの追加によって、OS (HR = 0.68) も、IDFS (HR = 0.63) も有意に延長された。

- ◆ リムパーザの有害事象として、貧血、白血球減少、倦怠感がある。

新規薬剤の追加によって予後の改善が期待されます。しかし、定期的な血液検査などによる有害事象のマネジメントを要するため、当科でのマネジメント期間が、今までの術後化学療法よりも1-2年長くなります。地域の先生方には、乳がん術後連携パスの開始が術後1.5~2.5年目以降からになってしまう症例がありますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

# がん遺伝子パネル検査 院外紹介受付開始について

2024年1月よりがん遺伝子パネル検査の院外紹介受付を開始いたします。

切除不能固形がんの患者さんが対象です。

## ●保険診療で行う がん遺伝子パネル検査について

がん遺伝子パネル検査によるがん遺伝子変異の解析をもとに標準治療後の新たな治療薬を検討するのが、現在のがんゲノム医療です。当院は「がんゲノム医療連携病院」に指定され、がんゲノム医療中核拠点病院である京都大学医学部附属病院と連携してがんゲノム医療を実施しています。

当院で実施しているパネル検査は、がん組織を用いるNCCオンコパネル、FoundationOne® CDx、血液検体によるFoundationOne® LiquidCDxの3つです(※)。検査結果により、他がん種で承認されている薬剤や有望な治験を提案できる可能性があります。当院のがんゲノム医療外来の受診を希望される場合は、現在がん診療を受けている患者の先生方から当院の「医療連携課」を通して予約をお願いします。

※2024年1月時点で、Guardant360、GenMineTOPが保険収載されていますが、現在準備中です。準備が整い次第、当院ホームページにて情報を更新しますのでご参照ください。

## ●受診にあたっての注意点

受診にあたっては以下の点をご確認ください。  
患者さんとの情報共有もお願いします。

- 治癒切除不能または再発病変を有する「原発不明がんなど標準治療のない固形がん」、または「標準治療終了しないし終了見込みの固形がん」の方が対象です。
- 体力が残っているお元気な方が検査の対象です。(Performance Status 0,1)
- できるだけ家族同伴のうえ、患者さんご本人の受診をお願いします。
- 3割負担の場合、申込み時に約132,000円、結果説明時に約36,000円の検査費用がかかりますが、高額療養費制度をご利用いただける場合があります。
- 指定用紙に詳細な病歴を記載してください。
- 患者さんにご提示できる検査結果が出るまで約2カ月かかります。
- 検査後の治療に関しては、あらためての相談となりますが、保険診療内での診療、治験参加や自由診療が提案できる可能性があります。ただし、自由診療の場合、治療費が高額となります。
- それらの治療につながる方は約1割程度で、結果に従って治療を行っても、効果が出るとは限りません。
- 検査後、がん遺伝子パネル検査に基づく治療以外の診療は原則、紹介元でお願いします。

## Profile

腫瘍内科 部長  
兼 通院治療センター長  
津村 剛彦



1991年京都大学医学部卒業後、京都大学医学部附属病院、関西電力病院で研修。1999年京都大学医学博士取得。京都桂病院赴任後2002年6月より大阪赤十字病院勤務、2014年8月より現職。

## ●がん遺伝子パネル検査のための 検体の取扱い

がん遺伝子パネル検査は次世代シーケンサー(NGS)を用いて解析を行うため、品質の担保された核酸を充分量抽出する必要があります。そのため検査に適したホルマリン固定パラフィン包埋(FFPE)ブロックの提供をお願いしています。病理組織検体がなく、新たに採取することができない場合は、血液検体でのがん遺伝子パネル検査が可能です。

## ●がんゲノム外来受診の流れ

- 1 当院 **医療連携課** に、**提出資料をすべて送付** してください。
- 2 病理検体を含めたすべての提出資料を受領後、一週間後以降の **受診予約日を確定** します。**受診日までに病理標本の評価** をいたします。
- 3 受診予約日に **「がんゲノム外来」を受診** していただきます。条件が整えば受診当日に、**がん遺伝子パネル検査の申し込み** が可能です。ただし、病理検体の適格性や、その他の理由により、当日に検査申し込みができない場合があります。
- 4 **約2カ月後** に患者さんにご提示できる検査結果が当院に返却された時点で **患者さんに電話連絡** を行い、結果説明のための **外来受診の予約** を行います。
- 5 外来受診の予約日当日に **結果説明** を行います。新たな治療の選択肢があれば提示し、ご希望があれば治療を進めます。

## information

▼当院ホームページ「がんゲノム医療について」もご参照ください。申込みに必要な書類もダウンロードできます。また、ご不明な点などもお気軽にお問い合わせください。

<https://www.osaka-med.jrc.or.jp/cancer2/genome/>

### お問い合わせ先

大阪赤十字病院「医療連携課」がんゲノム外来担当

- 〒543-8555 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-30
- TEL: 06-6774-5132 ●FAX: 06-6774-5031
- 受付時間/平日8:30~20:00、土曜8:30~13:00

## Topics-2 「肝胆膵がんセンター」を開設しました

副院長・消化器外科部長 森 章

### 総合病院の特性を活かした「チーム医療」を行います

昔から肝臓がん、胆道がん、膵臓がんは、予後が悪いがんの代表でした。近年、診断や治療が進歩し、予後が改善しています。しかし、まだ満足できるものではありません。

この度、当院では肝胆膵領域のがん患者さんに対して、最善のチーム医療を提供することを目的とした「肝胆膵がんセンター」を開設しました。多くの専門診療科医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、ソーシャルワーカーなどの多職種チームが適時適切に診療や支援を行います。具体的には、1)放射線診断科による高精度3D-CTや3.0T-MRI、2)消化器内科による造影超音波、肝動脈化学塞栓療法(TACE)、ラジオ波焼灼療法(RFA)、内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)、経口胆道鏡、超音波内視鏡下穿刺吸引生検(EUS-FNA)や減黄処置、3)消化器外科による術前シミュレーションや術中ナビゲーションシステムを併用した腹腔鏡やロボット支援下の肝切除術や膵切除術、4)病理診断科による病理組織診断、5)腫瘍内科による化学療法、分子標的

治療、免疫チェックポイント阻害剤や遺伝子パネル検査、6)放射線治

療科による強度変調放射線治療(IMRT)、7)緩和ケア科によるペインコントロールなど、各部門が密に連携しています。最新の知見に基づいて、がんの根治をめざした侵襲的検査や治療、高難度手術とともに安全性と患者さんのQOLを重視し、一人ひとりの患者さんに最善の診療を提供します。

当院は、国指定の「地域がん診療連携拠点病院」であり、地域の先生方とともにがん診療を提供することが責務です。さらに、当院は全診療科を有する総合病院であり、がん以外の併存疾患をお持ちの患者さんにも適切な診療を提供することができます。ご紹介いただいた患者さんが当院で急性期診療を受けられ、再び先生方のクリニックで診療を連携していただけますよう今後ともご協力をお願い申し上げます。

### 「肝胆膵がんセンター」に関連する主な施設認定

- ・地域がん診療連携拠点病院
- ・日本肝臓学会認定施設
- ・日本胆道学会認定指導施設
- ・日本膵臓学会認定指導施設
- ・日本肝胆膵外科学会
- ・高度技能専門医修練施設A
- ・がんゲノム医療連携病院

## 日赤オンライン医学講座

地域の先生方や一般市民の皆さま向けにオンラインでの医学講座を行っています。申込不要でお好きな時間に視聴いただける10～20分程度のミニ講座です。

- 当院ホームページから視聴できます。
- **YouTubeによる動画配信** (公開より1年間視聴可)
- 月に2回、原則毎月1日・15日に新規動画を配信。  
※休日の場合は翌開庁日です。

[https://www.youtube.com/playlist?list=PL00syUBOnjakeNHmZol7BsrNmCE3g\\_S8](https://www.youtube.com/playlist?list=PL00syUBOnjakeNHmZol7BsrNmCE3g_S8)



ぜひ、  
ご覧ください!

## 人事異動紹介 2023年10月2日～2024年1月1日

昇任  
2023年11月1日付

- 新任** ■ 2023年11月1日付  
【眼科】本田 有希(専攻医)  
【脳神経内科】山村 隆(非常勤嘱託医師)
- 2024年1月1日付  
【血液内科】堀澤 欣史(医長)  
【小児科】西川 和希(専攻医)



整形外科部  
副部長  
末吉 達也

- 退職** ■ 2023年10月31日付  
【産婦人科】川田 悦子(医師)
- 2023年12月31日付  
【血液内科】水谷 知里(副部長)  
【産婦人科】邨田 裕子(非常勤嘱託医師)

## Information 講演会・イベントのご案内

2024年2月～4月

### 病診薬連携セミナー2024

- ◆ 日 時 / 2024年2月15日(木) 19:00～20:30
- ◆ 場 所 / シェラトン都ホテル大阪  
3階 志摩の間(ハイブリッド方式)
- ◆ 共 催 / 天葉鳳凰の会、日本化薬株式会社
- ◆ 対 象 / 医師、医療従事者 ◆ 参加費 / 無料
- ◆ 基調講演 / 血液内科の現状と課題、  
地域連携の取り組み・今後の展望
- ◆ 特別講演 / 医療DXの目指すところ

事前登録用QRコード →



### 大阪赤十字病院 小児科クリニカルカンファレンス

- ◆ 日 時 / 第340回 2024年3月28日(木) } 15:00～16:30  
第341回 2024年4月25日(木) }
- ◆ 場 所 / 大阪赤十字病院 4階 第4会議室+WEB(Zoom)
- ◆ 主 催 / 大阪赤十字病院 小児科
- ◆ 対 象 / 医師、医療関係者
- ◆ 参加費 / 無料

※開催方法や詳しい演題名・演者は発表月の第1週に決定しますのでお問い合わせください

発行

## 大阪赤十字病院 医療連携課

大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-30

<https://www.osaka-med.jrc.or.jp>

2024年1月発行

### ■医療連携課のご案内

受付時間 / 平日8:30～20:00、土曜8:30～13:00

休 診 日 / 日曜・祝日、12月29日～1月3日(年末年始)、5月1日(本社創立記念日)

連 絡 先 / (医療連携課 直通) TEL:06-6774-5127

FAX:06-6774-5126